

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号)

第222期 (決算日 2020年10月15日)
 第223期 (決算日 2020年11月16日)
 第224期 (決算日 2020年12月15日)
 第225期 (決算日 2021年1月15日)
 第226期 (決算日 2021年2月15日)
 第227期 (決算日 2021年3月15日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	主としてフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行い、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
主要投資対象	<p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド</p> <p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド</p> <p>主として「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」および「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。</p>
組入制限	<p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド</p> <p>外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド</p> <p>外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎月15日（ただし、15日が休業日のときは翌営業日とします。）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が配当等収益を中心に基準価額水準等を勘案して決定します。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

運用報告書（全体版）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「フランクリン・テンプルトン 米国政府証券ファンド（愛称：メイフラワー号）」は2021年3月15日に第227期の決算を行いました。ここに、第222期から第227期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社は、2021年4月1日にレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社と合併し、フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社となる予定です。



FRANKLIN
TEMPLETON

フランクリン・テンプルトン・インベストメンツ株式会社

東京都港区六本木1丁目9番10号

〈お問い合わせ先〉

お客様ダイヤル

電話番号：03-6230-5699

受付時間：9:00～17:00

(土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除きます。)

<https://www.franklintempleton.co.jp/>

お客様の口座内容などに関するお問い合わせは、お申込みされた販売会社までお願い申し上げます。

FRANKLIN TEMPLETON®

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配	み金 期騰落		
	円	円	円	中率 %	%	百万円
198期(2018年10月15日)	7,236		13	△0.6	98.8	22,436
199期(2018年11月15日)	7,331		13	1.5	98.6	22,529
200期(2018年12月17日)	7,386		13	0.9	98.6	22,428
201期(2019年1月15日)	7,113		13	△3.5	98.3	21,580
202期(2019年2月15日)	7,260		13	2.2	98.8	21,863
203期(2019年3月15日)	7,364		13	1.6	98.4	21,971
204期(2019年4月15日)	7,390		13	0.5	98.7	21,743
205期(2019年5月15日)	7,264		13	△1.5	98.3	21,117
206期(2019年6月17日)	7,261		13	0.1	98.5	20,976
207期(2019年7月16日)	7,229		13	△0.3	98.6	20,792
208期(2019年8月15日)	7,136		13	△1.1	98.8	20,433
209期(2019年9月17日)	7,290		13	2.3	98.6	20,743
210期(2019年10月15日)	7,313		13	0.5	98.8	20,720
211期(2019年11月15日)	7,307		13	0.1	99.0	20,167
212期(2019年12月16日)	7,343		13	0.7	98.9	19,897
213期(2020年1月15日)	7,383		13	0.7	98.9	19,888
214期(2020年2月17日)	7,385		13	0.2	98.7	19,646
215期(2020年3月16日)	7,189		13	△2.5	98.5	19,087
216期(2020年4月15日)	7,325		13	2.1	98.7	19,135
217期(2020年5月15日)	7,370		13	0.8	98.6	19,214
218期(2020年6月15日)	7,358		13	0.0	98.6	19,008
219期(2020年7月15日)	7,310		13	△0.5	98.5	18,838
220期(2020年8月17日)	7,250		9	△0.7	98.6	18,713
221期(2020年9月15日)	7,183		9	△0.8	98.3	18,471
222期(2020年10月15日)	7,142		9	△0.4	98.6	18,332
223期(2020年11月16日)	7,096		9	△0.5	98.6	18,047
224期(2020年12月15日)	7,054		9	△0.5	98.7	17,846
225期(2021年1月15日)	7,031		9	△0.2	98.3	17,687
226期(2021年2月15日)	7,088		9	0.9	98.4	17,740
227期(2021年3月15日)	7,297		9	3.1	98.7	17,920

(注) 基準価額(1万円当たり)の期中騰落率は分配金込みです。

(注) ファンドは、「フランクリン・템플トン 米国政府証券マザーファンド」(以下「マザーファンド」)の受益証券を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) マザーファンドを通じて投資をする投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

○当作成期中の基準価額の推移

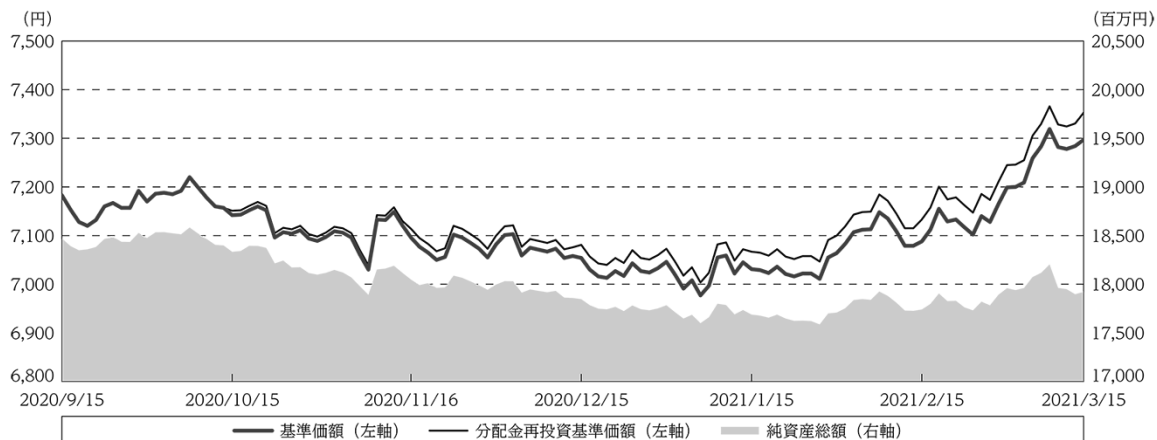
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 証 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第222期	(期 首) 2020年9月15日	円 7,183	% —		% 98.3
	9月末	7,192	0.1		98.1
	(期 末) 2020年10月15日	7,151	△0.4		98.6
第223期	(期 首) 2020年10月15日	7,142	—		98.6
	10月末	7,097	△0.6		98.6
	(期 末) 2020年11月16日	7,105	△0.5		98.6
第224期	(期 首) 2020年11月16日	7,096	—		98.6
	11月末	7,055	△0.6		98.6
	(期 末) 2020年12月15日	7,063	△0.5		98.7
第225期	(期 首) 2020年12月15日	7,054	—		98.7
	12月末	7,020	△0.5		98.4
	(期 末) 2021年1月15日	7,040	△0.2		98.3
第226期	(期 首) 2021年1月15日	7,031	—		98.3
	1月末	7,064	0.5		98.6
	(期 末) 2021年2月15日	7,097	0.9		98.4
第227期	(期 首) 2021年2月15日	7,088	—		98.4
	2月末	7,128	0.6		98.1
	(期 末) 2021年3月15日	7,306	3.1		98.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年9月16日～2021年3月15日)

作成期間中の基準価額等の推移



第222期首：7,183円

第227期末：7,297円 (既払分配金(税込み):54円)

騰落率： 2.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年9月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドがマザーファンドを通じて投資を行う投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定していません。

○基準価額の主な変動要因

「フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド」(以下、「マザーファンド」)を通じて投資した投資対象ファンドである「フランクリン・templton U. S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド(バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・templton・インベストメント・ファンズ・フランクリン U. S. ガバメント・ファンド(ルクセンブルク籍投資法人)」の分配金再投資基準価額はやや値下がりしたものの、米ドルが対円で上昇したことなどから、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「■投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券（ジニーメイ・パス・スルー証券等）からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券（ジニーメイ・パス・スルー証券等）の価格変動

投資環境

(米国債券市場とジニーメイ・パス・スルー証券市場)

米国10年国債利回りの推移



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当作成期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものであります。

米国債券市場では、米国10年国債利回りは当作成期首の0.6%台から1.6%台まで上昇（価格は下落）して当作成期末を迎えました。

当作成期首から2020年12月末にかけては、新型コロナウイルス向けのワクチン開発進展や、11月に実施された米国大統領選挙でバイデン氏が勝利したことで、同氏が公約に掲げている労働者支援や環境投資関連によって歳出が拡大し、国債増発に繋がるとの観測から、やや利回りは上昇しましたが、新型コロナウイルス感染が再拡大する中で発表された経済指標が軟調となると、利回りが低下する場面もありました。2021年に入り、1月に行われたジョージア州での米連邦議会上下院の2議席を巡る決選投票で民主党候補が2議席を制し、民主党が上下両院の多数党になったことで、追加財政出動観測が高まり、同月には2020年3月以来となる1.0%を上回る水準となりました。その後も、追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種普及による景気回復に対する期待などから、利回りは上昇基調となり、1.6%台まで上昇して当作成期末を迎えました。3月11日にバイデン米大統領は、総額1.9兆米ドル規模の追加経済対策法案に署名し、法案は成立しました。

当作成期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は下落しました。住宅ローン金利の主要な指標金利のひとつであるフレディマック30年（固定）金利は上昇しました。住宅ローンの借り換え指数は上昇しました。

(外国為替市場)

為替レート (円/米ドル) の推移



※為替レートは、三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

当作成期、米ドルの対円相場は当作成期首の1米ドル105円台後半から109円台前半へとドル高円安となりました。

当作成期首から欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大したことなどをを受けてドル安基調となる中、パウエル米連邦準備理事会 (FRB) 議長が11月に開催された米連邦公開市場委員会 (FOMC) 後の記者会見で、財政・金融政策による追加支援の必要性について言及した場面では1米ドル103円台までドル安円高が進行しました。さらにその後も、2021年1月初めにはバイデン氏の大統領選挙勝利確定に抗議するデモ隊の一部が暴徒化し、米連邦議会議事堂に乱入して一時占拠するという前代未聞の出来事が発生したことなどから米ドルが売られ、1米ドル102円台までドル安円高が進行する場面もありましたが、民主党主導による追加財政刺激策への期待感から米国債利回りが上昇する中で米ドルも買い戻され、さらに発表された米経済指標が市場予想を上回る内容となったことなどをを受けて、2月初めには再び1米ドル105円台までドル高円安が進行しました。3月には、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種普及による景気回復期待などから米国の長期金利が上昇したことなどを受け、米ドルは上昇トレンドを維持し、結局米ドルの対円相場は当作成期首よりもドル高円安の1米ドル109円台前半で当作成期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

運用の基本方針にもとづき、フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行いました。

当ファンドでは、当作成期を通じてマザーファンドを高位に組入れ、当作成期末における組入比率は99.0%となりました。マザーファンドにおける当作成期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が69.4%、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が30.2%、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当作成期も、独自の分析手法を用いて、証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当作成期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%のクーポン**を持つ証券の比率が最も大きくなっていますが、当運用期間においては2.0%から3.0%のクーポンを持つ証券に追加投資を行った一方で、3.5%のクーポンを持つ証券の比率をやや引き下げました。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、マザーファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

FRANKLIN TEMPLETON®

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載しておりません。

分配金

当ファンドは、当作成期中の毎決算時に配当等収益を中心に以下の収益分配を行いました。
なお、留保された収益の運用につきましては、特に制限を設けず元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	9 0.126%	9 0.127%	9 0.127%	9 0.128%	9 0.127%	9 0.123%
当期の収益	6	7	7	9	9	9
当期の収益以外	2	1	1	—	—	—
翌期繰越分配対象額	795	793	792	792	794	796

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券ファンド (愛称：メイフラワー号))

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、引き続きフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドへの投資を通じて、主に「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。米国における外国人投資家への税制優遇措置継続の確認がとれていることに伴い、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への配分は分配金水準や資金フローなどを総合的に勘案して判断する予定です。なお、今後も金融制度、税制等の動向を注視してまいります。

(フランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2021年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ0.75%、1.44%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは1.81%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

当作成期首から2021年初めにかけては、エージェンシーMBSのうち約8割のMBSにおいてクーポンが利回り水準より0.5%以上高い水準となっていました。その後の金利上昇によって足元ではその割合は約6割にまで低下しており、市場にはプラス材料となっています。しかし、借り換えの申請件数は依然として高水準となっており、繰り上げ返済は今後3ヵ月は上昇傾向を示すとみています。指数ベースでのCPR (年率ベースでの繰上償還比率) は今後3-6ヵ月に亘り28-30%程度を維持した後、20%台前半まで低下するものと予想します。2020年3月半ば以降2021年2月末にかけ、FRBは1.7兆米ドルに及ぶMBSの購入を実施し、同月末にはエージェンシーMBS市場の30%程度となる2.17兆米ドルを保有しています。

ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

FRANKLIN TEMPLETON®

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年9月16日～2021年3月15日)

項 目	第222期～第227期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 27	% 0.382	(a) 信託報酬 = [作成期間の平均基準価額] × 信託報酬率
(投 信 会 社)	(10)	(0.142)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、開示資料作成等の対価
(販 売 会 社)	(15)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの運用財産の保管・管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.003	(b) その他費用 = $\frac{\text{〔作成期間のその他費用〕}}{\text{〔作成期間の平均受益権口数〕}}$
(保 管 費 用)	(0)	(0.000)	その他費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
			・ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
合 計	27	0.385	
作成期間の平均基準価額は、7,092円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。各項目の費用は、マザーファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要<ご参考>」に表示しております。

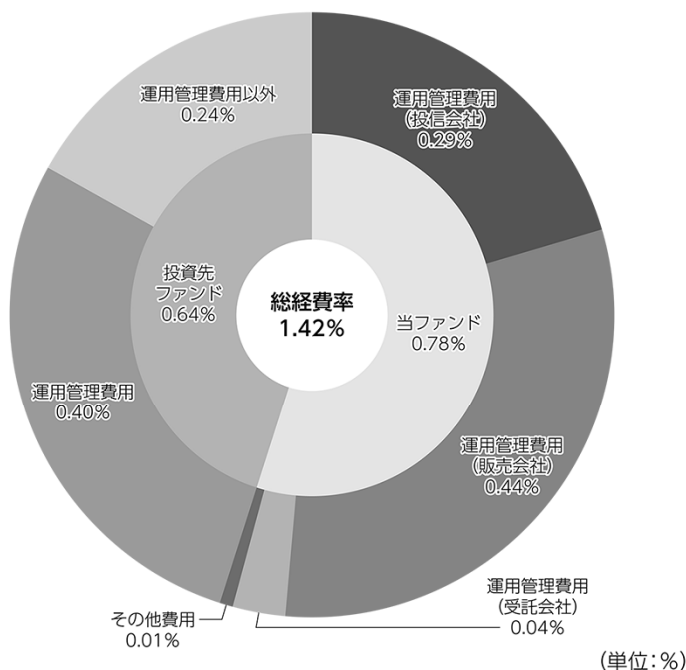
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.42%です。



総経費率①+②+③	1.42
①当ファンドの費用の比率	0.78
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.40
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.24

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

FRANKLIN TEMPLETON®

○売買及び取引の状況

(2020年9月16日～2021年3月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第222期～第227期			
		設		解	
		口	数	口	数
		金	額	金	額
		千口	千円	千口	千円
フランクリン・テンプレトン	米国政府証券マザーファンド	—	—	606,132	950,495

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月16日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年9月16日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年3月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第221期末	第227期末		
		口	数	口	数
				評	価
				額	
		千口	千円	千円	
フランクリン・テンプレトン	米国政府証券マザーファンド	11,627,200	11,021,067	17,747,224	

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2021年3月15日現在)

項 目	第227期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド	17,747,224	98.4
コール・ローン等、その他	287,619	1.6
投資信託財産総額	18,034,843	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当作成期末におけるフランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンドの外貨建純資産 (17,747,162千円) の投資信託財産総額 (17,760,722千円) に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産の評価額は、当作成期末のわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=109.06円)

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第222期末	第223期末	第224期末	第225期末	第226期末	第227期末
	2020年10月15日現在	2020年11月16日現在	2020年12月15日現在	2021年1月15日現在	2021年2月15日現在	2021年3月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	18,410,784,623	18,127,737,696	17,920,364,373	17,749,867,405	17,791,581,344	18,034,843,903
コール・ローン等	266,538,579	274,045,370	243,078,185	305,362,581	274,595,189	287,619,130
フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド(信託)	18,144,246,044	17,853,692,326	17,677,286,188	17,444,504,824	17,516,986,155	17,747,224,773
(B) 負債	77,989,428	79,881,642	74,003,129	62,416,269	51,323,632	114,158,568
未払収益分配金	23,103,278	22,890,373	22,768,904	22,641,955	22,526,050	22,103,157
未払解約金	43,110,819	44,625,442	40,156,766	28,080,388	17,109,710	81,400,118
未払信託報酬	11,682,168	12,267,858	10,989,575	11,600,899	11,594,973	10,570,541
未払利息	693	713	664	836	752	826
その他未払費用	92,470	97,256	87,220	92,191	92,147	83,926
(C) 純資産総額(A-B)	18,332,795,195	18,047,856,054	17,846,361,244	17,687,451,136	17,740,257,712	17,920,685,335
元本	25,670,309,758	25,433,747,992	25,298,782,843	25,157,728,449	25,028,945,457	24,559,064,126
次期繰越損益金	△ 7,337,514,563	△ 7,385,891,938	△ 7,452,421,599	△ 7,470,277,313	△ 7,288,687,745	△ 6,638,378,791
(D) 受益権総口数	25,670,309,758口	25,433,747,992口	25,298,782,843口	25,157,728,449口	25,028,945,457口	24,559,064,126口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,142円	7,096円	7,054円	7,031円	7,088円	7,297円

FRANKLIN TEMPLETON®

○損益の状況

項 目	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
	2020年9月16日～ 2020年10月15日	2020年10月16日～ 2020年11月16日	2020年11月17日～ 2020年12月15日	2020年12月16日～ 2021年1月15日	2021年1月16日～ 2021年2月15日	2021年2月16日～ 2021年3月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 25,161	△ 20,246	△ 18,663	△ 19,885	△ 20,652	△ 21,868
受取利息	24	-	-	-	-	-
支払利息	△ 25,185	△ 20,246	△ 18,663	△ 19,885	△ 20,652	△ 21,868
(B) 有価証券売買損益	△ 70,480,695	△ 80,462,617	△ 71,620,649	△ 24,718,595	177,348,395	545,254,462
売買益	481,238	1,082,669	516,992	695,512	178,084,024	554,523,290
売買損	△ 70,961,933	△ 81,545,286	△ 72,137,641	△ 25,414,107	△ 735,629	△ 9,268,828
(C) 信託報酬等	△ 11,776,575	△ 12,365,114	△ 11,076,795	△ 11,693,090	△ 11,687,120	△ 10,654,467
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 82,282,431	△ 92,847,977	△ 82,716,107	△ 36,431,570	165,640,623	534,578,127
(E) 前期繰越損益金	△1,592,633,637	△1,671,168,416	△1,769,503,565	△1,856,882,571	△1,898,872,816	△1,714,110,474
(F) 追加信託差損益金	△5,639,495,217	△5,598,985,172	△5,577,433,023	△5,554,321,217	△5,532,929,502	△5,436,743,287
(配当等相当額)	(508,166,398)	(513,654,745)	(517,689,907)	(520,883,404)	(523,856,934)	(521,313,632)
(売買損益相当額)	(△6,147,661,615)	(△6,112,639,917)	(△6,095,122,930)	(△6,075,204,621)	(△6,056,786,436)	(△5,958,056,919)
(G) 計 (D + E + F)	△7,314,411,285	△7,363,001,565	△7,429,652,695	△7,447,635,358	△7,266,161,695	△6,616,275,634
(H) 収益分配金	△ 23,103,278	△ 22,890,373	△ 22,768,904	△ 22,641,955	△ 22,526,050	△ 22,103,157
次期繰越損益金 (G + H)	△7,337,514,563	△7,385,891,938	△7,452,421,599	△7,470,277,313	△7,288,687,745	△6,638,378,791
追加信託差損益金	△5,639,495,217	△5,598,985,172	△5,577,433,023	△5,554,321,217	△5,532,929,502	△5,436,743,287
(配当等相当額)	(508,216,823)	(513,743,577)	(517,704,107)	(520,932,953)	(523,909,259)	(521,417,700)
(売買損益相当額)	(△6,147,712,040)	(△6,112,728,749)	(△6,095,137,130)	(△6,075,254,170)	(△6,056,838,761)	(△5,958,160,987)
分配準備積立金	1,534,049,983	1,505,304,220	1,486,382,316	1,472,217,272	1,463,519,832	1,435,561,182
繰越損益金	△3,232,069,329	△3,292,210,986	△3,361,370,892	△3,388,173,368	△3,219,278,075	△2,637,196,686

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項> (当運用報告書作成時点では監査未了です。)

(貸借対照表関係)

- (1) 当ファンドの第222期首元本額は25,715,886,123円、第222～227期中追加設定元本額は833,741,513円、第222～227期中一部解約元本額は1,990,563,510円です。
- (2) 貸借対照表上の純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は6,638,378,791円です。
- (3) 1口当たり純資産額は、第222期0.7142円、第223期0.7096円、第224期0.7054円、第225期0.7031円、第226期0.7088円、第227期0.7297円です。

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

(1) 第222期 (自2020年9月16日 至2020年10月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (17,714,071円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (508,216,823円) および分配準備積立金 (1,539,439,190円) より分配対象収益は2,065,370,084円 (1万口当たり804円) であり、うち23,103,278円 (1万口当たり9円) を分配金額としております。

(2) 第223期 (自2020年10月16日 至2020年11月16日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (18,402,676円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (513,743,573円) および分配準備積立金 (1,509,643,917円) より分配対象収益は2,041,938,170円 (1万口当たり802円) であり、うち22,890,373円 (1万口当たり9円) を分配金額としております。

(3) 第224期 (自2020年11月17日 至2020年12月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (18,507,591円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (517,744,107円) および分配準備積立金 (1,490,643,922円) より分配対象収益は2,026,855,327円 (1万口当たり801円) であり、うち22,768,904円 (1万口当たり9円) を分配金額としております。

(4) 第225期 (自2020年12月16日 至2021年1月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (22,830,305円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (520,932,953円) および分配準備積立金 (1,472,028,922円) より分配対象収益は2,015,792,180円 (1万口当たり801円) であり、うち22,641,955円 (1万口当たり9円) を分配金額としております。

(5) 第226期 (自2021年1月16日 至2021年2月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (26,955,380円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (523,909,259円) および分配準備積立金 (1,459,090,502円) より分配対象収益は2,009,955,141円 (1万口当たり803円) であり、うち22,526,050円 (1万口当たり9円) を分配金額としております。

(6) 第227期 (自2021年2月16日 至2021年3月15日)

計算期間末における費用控除後の配当等収益 (28,860,186円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (521,417,700円) および分配準備積立金 (1,428,804,153円) より分配対象収益は1,979,082,039円 (1万口当たり805円) であり、うち22,103,157円 (1万口当たり9円) を分配金額としております。

〇分配金のお知らせ

	第222期	第223期	第224期	第225期	第226期	第227期
1万口当たり分配金 (税込み)	9円	9円	9円	9円	9円	9円

◇分配金の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」があります。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金 (特別分配金) となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金 (特別分配金) が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金 (特別分配金) を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド

《第19期》

決算日：2021年3月15日

(計算期間：2020年3月17日～2021年3月15日)

《運用報告書》

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、信託財産の着実な成長と安定的な収益の確保を図ることを目指してファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行うことを基本方針とします。 主として米国ジニーメイ・パス・スルー証券（政府抵当金庫パス・スルー証券）等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
主要投資対象	主として「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド（米国籍投資法人）」、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンド（ルクセンブルク籍投資法人）」および「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド（バミューダ籍投資法人）」等への投資を通じて、米国ジニーメイ・パス・スルー証券等の米国高格付け証券に実質的な投資を行います。
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 期騰落	中率	投資信託 組入比率	フランクリンU.S.ガバメント・ セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)組入比率	フランクリン・テンプレートン・ インベストメント・ファンズ- フランクリンU.S.ガバメント・ファンド (ルネサンスブルック投資法人)組入比率	フランクリン・テンプレートンU.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド (バミューダ島投資法人)組入比率	純資産 総額
				%	%	%	
15期(2017年3月15日)	円 15,318	% 0.4	%	% —	% 36.5	% 63.2	百万円 27,325
16期(2018年3月15日)	14,187	△7.4		—	29.8	69.9	22,884
17期(2019年3月15日)	15,388	8.5		—	29.7	70.0	21,689
18期(2020年3月16日)	15,468	0.5	99.6				18,871
19期(2021年3月15日)	16,103	4.1	99.6				17,747

(注) 当ファンドの投資対象ファンドは、特定のベンチマークを上回ることを目指して運用するものではありません。したがって、当ファンドもベンチマークを設定しておりません。

(注) 第18期より、組入比率の記載について、ファンド別の記載から、資産別の記載に変更しております。

○当期中の基準価額の推移

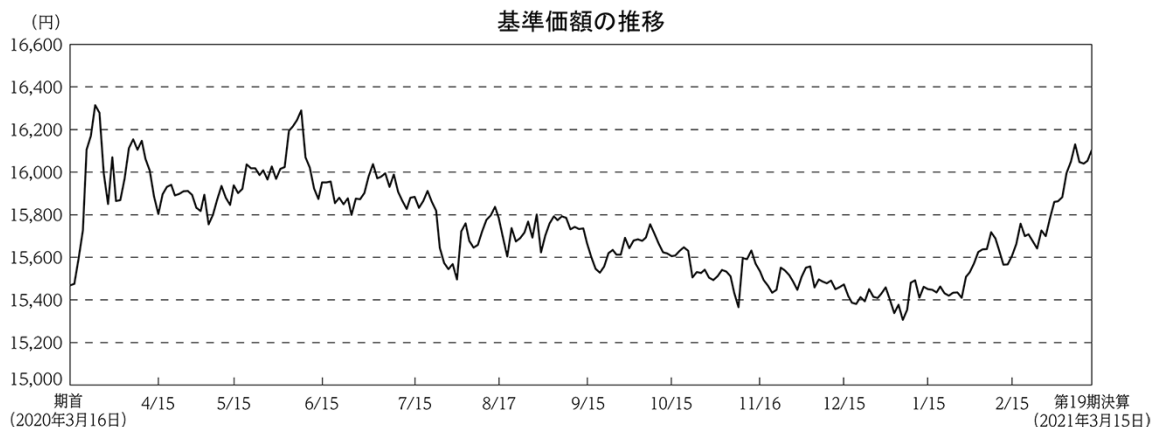
年 月 日	基準 額	騰落率	投資信託 組入比率	託 券 率
		%		
(期首) 2020年3月16日	円 15,468	% —	% 99.6	% 99.6
3月末	16,069	3.9	99.7	99.7
4月末	15,817	2.3	99.6	99.6
5月末	15,969	3.2	99.6	99.6
6月末	15,981	3.3	99.6	99.6
7月末	15,496	0.2	99.6	99.6
8月末	15,624	1.0	99.6	99.6
9月末	15,691	1.4	99.6	99.6
10月末	15,511	0.3	99.6	99.6
11月末	15,448	△0.1	99.6	99.6
12月末	15,401	△0.4	99.6	99.6
2021年1月末	15,529	0.4	99.6	99.6
2月末	15,700	1.5	99.6	99.6
(期末) 2021年3月15日	16,103	4.1	99.6	99.6

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年3月17日～2021年3月15日)

期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資対象ファンドである「フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」および「フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ - フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」の分配金再投資基準価額が値上がりしたことや、米ドルが対円で上昇したことなどから、当ファンドの基準価額は上昇しました。詳しくは後掲の「投資環境」をご参照ください。

なお、投資対象ファンドの主な変動要因は以下の通りです。

- ・投資を行っている米国高格付け証券 (ジニーメイ・パス・スルー証券等) からのインカム
- ・投資を行っている米国高格付け証券 (ジニーメイ・パス・スルー証券等) の価格変動

投資環境

(米国債券市場とジニーメイ・パス・スルー証券市場)



※出所：Bloomberg 米国10年国債利回りは、当期首の前営業日から期末の前営業日の期間（現地日付ベース）のものです。

米国債券市場では、米国10年国債利回りは期首の0.9%台から1.6%台まで上昇（価格は下落）して当期末を迎えました。

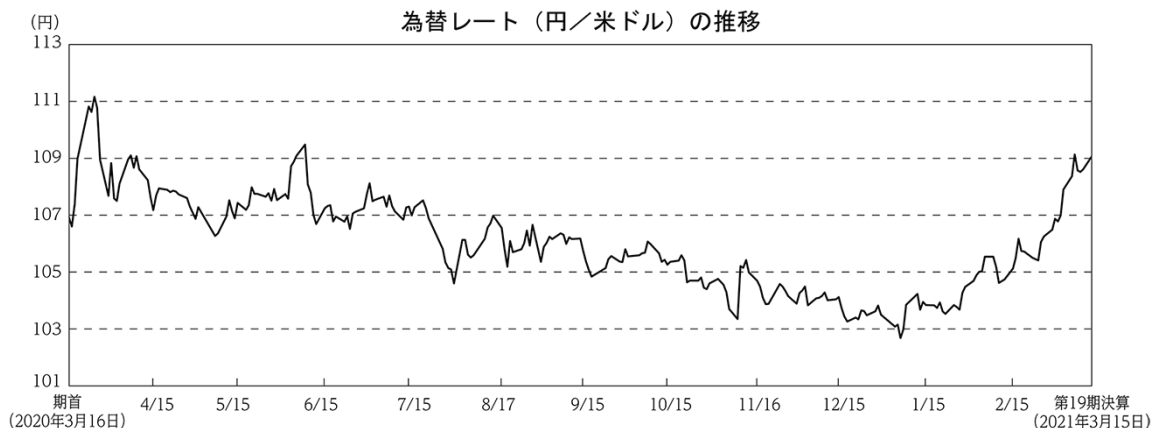
期首において新型コロナウイルスの感染拡大による金融市場の混乱により、利回りは一時的に上昇しましたが、以降、新型コロナウイルスの感染拡大を抑制する目的で多くの国でソーシャルディスタンス戦略や都市封鎖などが実施される中、米国債券市場では経済活動の低下に伴う投資家のリスク回避の姿勢を背景に利回りが低下基調となりました。米連邦準備理事会（FRB）は2020年3月23日に同月3回目となる臨時の会合を開き、市場の機能維持のために、米国国債およびエージェンシーMBSの購入限度額を撤廃したことに加え、購入対象に投資適格社債、長期資産担保証券なども盛り込みました。FRBはその後も、米国経済が前例のない下振れリスクに直面しているとの見解を示し、6月の米連邦公開市場委員会（FOMC）では、引き続き企業および個人向けの信用の流れを確保すると表明しました。またこの間、米国政府も景気対策として多額の支援策を講じた結果、財政赤字が拡大し、米国国債の発行額も大幅に増加しましたが、旺盛な需要により消化され、米国10年国債利回りは8月前半にかけて、概ね0.5～0.8%台での低位で推移しました。8月後半以降は、発表された経済指標が市場予想を上回ったことなどに加え、新型コロナウイルスのワクチン開発が進展するにつれ、利回りは徐々に上昇基調となりました。さらに、11月に実施された米国大統領選挙でバイデン氏が勝利したことで、同氏が公約に掲げている労働者支援や環境投資関連によって歳出が拡大し、国債増発に繋がるとの観測も利回りを押し上げる要因となりました。

2021年に入り、1月に行われたジョージア州での米連邦議会上院の2議席を巡る決選投票で民主党候補が2議席を制し、民主党が上下両院の多数党になったことで、追加財政出動観測が高まり、同月には2020年3月以来となる1.0%を上回る水準となりました。その後も、追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種普及による景気回復に対する期待などから、利回りは上昇基調となり、1.6%台まで上昇して期末を迎えました。

当期、ジニーメイ・パス・スルー証券市場は上昇しました。代表的な住宅ローン金利のひとつである米国連邦住宅貸付抵当公社の30年ローン金利（固定）は低下しました。一方、住宅ローンの借り換え指数は期初に大きく低下しましたが、期末にかけてやや上昇基調となりました。

FRANKLIN TEMPLETON®

(外国為替市場)



※為替レートは、三菱UFJ銀行対顧客電信売買相場の仲値です。

当期、米ドルの対円相場は期首の1米ドル106円台後半から109円台前半へとドル高円安となりました。

新型コロナウイルスの影響により、期首から金融市場全般が大きく変動する中で米ドルの需給がひっ迫し、米ドルが主要通貨に対して全面高となり、対円でも一時1米ドル111円台までドル高円安が進む局面もありましたが、その後、米ドル確保の動きが一服するにつれ、徐々にドル安円高の基調が強まりました。発表された米経済指標に市場予想を上回るものが見られた局面などでは米ドルが買われる場面もありましたが、欧米で新型コロナウイルスの感染が再拡大する中で、2020年7月には米中双方が相手国の総領事館を閉鎖するなど対立の激化が懸念されたことなどをを受けてドルが売られて1米1ドル104円台に、11月に開催されたFOMC後の記者会見で財政・金融政策による追加支援の必要性について言及した場面では1米ドル103円台までドル安円高が進行しました。

2021年に入り、1月初めには一時1米ドル102円台までドル安円高が進行しましたが、その後は選挙で勝利した民主党主導による追加財政刺激策への期待感から米国債利回りが上昇する中で米ドルも買い戻され、2月初めには再び1米ドル105円台までドル高円安が進行しました。3月には、米国の追加経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種普及による景気回復期待などから米国の長期金利が上昇したことなどを受け、米ドルは上昇トレンドを維持し、結局米ドルの対円相場は期首よりもドル高円安の1米ドル109円台前半で当期を終えました。

当ファンドのポートフォリオ

(フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンド)

マザーファンドにおける当期末の投資対象ファンドの組入比率は、「フランクリン・テンプルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」が69.4%、「フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズ - フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」が30.2%、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」が0%となりました。

(フランクリン・テンプルトン 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

当期も、独自の分析手法を用いて証券価格が割安に推移していると判断されるジニーメイ・パス・スルー証券に着目して投資を行いました。

証券化プログラム*の違いによる証券価格形成に着目した投資では、当期はジニーメイⅡの組入比率がジニーメイⅠの組入比率を上回りました。

また、クーポン別の組入れでは、3.5%のクーポン**を持つ証券の比率が最も大きく、当運用期間においては2.5%や3.0%のクーポンを持つ証券に追加投資を行いました。

*証券化プログラムとは、住宅ローンを条件（金利、ローンの対象となる住宅等、ローンの開始日など）によって分類し、ジニーメイ・パス・スルー証券を組成していく工程のことです。ジニーメイ・パス・スルー証券には、ジニーメイⅠとジニーメイⅡの2種類の証券化プログラムがあります。

**クーポンとは、証券の額面に対する単年の利息の割合です。

※上記コメントは、ファンドにおける投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

FRANKLIN TEMPLETON®

○今後の運用方針

(フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンド)

当ファンドは、「運用の基本方針」に基づき、主に「フランクリン・templton U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド (バミューダ籍投資法人)」、「フランクリン・templton・インベストメント・ファンズ - フランクリン U. S. ガバメント・ファンド (ルクセンブルク籍投資法人)」に投資を行う方針です。米国における外国人投資家への税制優遇措置継続の確認がとれたことに伴い、「フランクリン U. S. ガバメント・セキュリティーズ・ファンド (米国籍投資法人)」への配分は分配金水準や資金フローなどを総合的に勘案して判断する予定です。なお、今後も金融制度、税制等の動向を注視してまいります。

また、投資対象ファンド全体の組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わないことを原則とします。

(フランクリン・templton 米国政府証券マザーファンドの投資対象ファンド)

2021年2月末時点において、米国国債利回りが5年債、10年債でそれぞれ0.75%、1.44%程度であったのに対し、ジニーメイ・パス・スルー証券の利回りは1.81%程度と相対的に魅力的な利回り水準にありました。

期首から2021年初めにかけては金利が極めて低い水準にあったことから、エージェンシーMBSのうち約8割のMBSにおいてクーポンが利回り水準より0.5%以上高い水準となっていました。その後の金利上昇によって足元ではその割合は約6割にまで低下しており、市場にはプラス材料となっています。しかし、借り換えの申請件数は依然として高水準となっており、繰り上げ返済は今後3ヵ月は上昇傾向を示すとみています。指数ベースでのCPR (年率ベースでの繰上償還比率) は今後3 - 6ヵ月に亘り28 - 30%程度を維持した後、20%台前半まで低下するものと予想します。2020年3月半ばから2021年2月末にかけ、FRBは1.7兆米ドルに及ぶMBSの購入を実施し、同月末にはエージェンシーMBS市場の30%程度となる2.17兆米ドルを保有しています。ジニーメイ・パス・スルー証券は米国政府が元利金の期日通りの支払いを保証する住宅ローン担保証券であり、実質的に米国国債と同等の信用力を有すると考えられています。上記の投資環境の下において、より有利な投資機会の発掘のために同証券を構成する住宅ローンに対する精査を徹底してまいります。期限前償還リスクを適切に評価し、投資対象証券の本来の価値と市場価値との乖離を特定することで、より投資妙味のある証券への投資を行う方針です。

※上記コメントは、投資対象ファンドの運用担当者のコメントです。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年3月17日～2021年3月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$ その他費用 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、15,686円です。			

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」等が取得できるものについては交付運用報告書の「組入上位ファンドの概要<ご参考>」に表示しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

FRANKLIN TEMPLETON®

○売買及び取引の状況

(2020年3月17日～2021年3月15日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	バミューダ フランクリン・テンプレトン U.S. ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	千口	千ドル	千口	千ドル
	ルクセンブルク フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファズ-フランクリン U.S. ガバメント・ファンド	251	2,444	1,648	16,000
	小計	121	1,172	155	1,500
		372	3,616	1,803	17,500

(注) 金額は受渡し代金です。

(注) 口数・金額の単位未満は切捨てです。

○利害関係人との取引状況等

(2020年3月17日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年3月17日～2021年3月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年3月15日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(バミューダ)	千口	千口	千ドル	千円	%	
フランクリン・テンブルトン U.S.ガバメント・セキュリティーズII・ファンド	13,179	11,782	112,991	12,322,837	69.4	
(ルクセンブルク)						
フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ・フランクリン U.S.ガバメント・ファンド	5,225	5,191	49,114	5,356,476	30.2	
合 計	口 数 ・ 金 額	18,404	16,974	162,106	17,679,313	
	銘柄数 < 比率 >	2	2	—	< 99.6% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=109.06円)

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

○投資信託財産の構成

(2021年3月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 17,679,313	% 99.5
コール・ローン等、その他	81,409	0.5
投資信託財産総額	17,760,722	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(17,747,162千円)の投資信託財産総額(17,760,722千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。(1米ドル=109.06円)

FRANKLIN TEMPLETON®

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	17,869,772,310
コール・ローン等	67,848,404
投資証券(評価額)	17,679,313,889
未収入金	109,055,000
未収配当金	13,555,017
(B) 負債	122,605,017
未払金	122,605,017
(C) 純資産総額(A-B)	17,747,167,293
元本	11,021,067,362
次期繰越損益金	6,726,099,931
(D) 受益権総口数	11,021,067,362口
1万口当たり基準価額(C/D)	16,103円

○損益の状況 (2020年3月17日～2021年3月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	393,860,365
受取配当金	393,860,365
(B) 有価証券売買損益	351,978,000
売買益	392,124,703
売買損	△ 40,146,703
(C) 保管費用等	△ 51,258
(D) 当期損益金(A+B+C)	745,787,107
(E) 前期繰越損益金	6,670,825,414
(F) 解約差損益金	△ 690,512,590
(G) 計(D+E+F)	6,726,099,931
次期繰越損益金(G)	6,726,099,931

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(1) 期首元本額は12,200,804,772円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は1,179,737,410円です。

(2) 当ファンドの期末元本額 11,021,067,362円

元本の内訳

フランクリン・テンブルトン 米国政府証券ファンド 11,021,067,362円

(3) 期末における1口当たり純資産額は1.6103円です。

フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズー フランクリン U. S. ガバメント・ファンドの運用状況について

2020年6月30日決算

(計算期間：2019年7月1日～2020年6月30日)

フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーフランクリン U. S. ガバメント・ファンドは、フランクリン・テンプレートン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年6月末）です。したがって、直前の計算期末である2020年6月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	ルクセンブルク籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て ^{注1}
投資目的	金利収入と元本の安全性の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	主として米国政府および米国政府機関が発行あるいは保証する証券に投資を行うことにより、投資目的を達成することを企図しています。 * 資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理会社：フランクリン・テンプレートン・インターナショナル・サービシズ・エス・エー・アール・エル (業務委託先：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー) 保管銀行：JPモルガン・バンク・ルクセンブルク・エス・エー
費用 ^{注2}	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40% 管理会社報酬：年0.20%以内 保管銀行報酬：年0.01%～年0.14%

(注1) 当ファンドのマザーファンドは、フランクリン U. S. ガバメント・ファンドのClass I(Mdis) (米ドル建て) に投資します。

(注2) 当ファンドのマザーファンドが投資を行うClass I(Mdis) のものです。

この他に監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

FRANKLIN TEMPLETON®

フランクリン・テンプルトン・インベストメント・ファンズー
フランクリン U.S. ガバメント・ファンド
損益および純資産変動計算書
2020年6月30日に終了した計算期間

(米ドル)

期首純資産	742,053,537
収益	
債券利息（税引後）	25,006,554
預金利息	105,163
その他収益	9,750
収益合計	25,121,467
費用	
運用報酬	5,678,106
管理会社報酬	2,158,251
保管銀行報酬	37,398
監査費用	13,283
その他費用	4,065,738
費用合計	11,952,776
関係法人からの費用戻入	(87,985)
純費用合計	11,864,791
投資純収益	13,256,676
投資有価証券売買に係る実現純利益	7,139,302
外国為替先渡契約に係る実現純利益	1,807,087
モーゲージダラーロールに係る実現純損失	(92,891)
外国為替取引に係る実現純利益	18,110
当期実現利益	22,128,284

投資未実現評価益	16,061,279
外国為替先渡契約未実現評価損	(476,428)
モーゲージダラーロールに係る未実現評価益	5,578
外国為替取引未実現評価益	853
	<hr/>
運用による純資産の増加額	37,719,566
元本異動等	
追加設定額	1,315,379,628
解約額	(727,320,622)
追加設定・一部解約時の収益調整	1,355,444
	<hr/>
	589,414,450
分配金額	(26,539,729)
	<hr/>
元本異動による純資産の増加額	562,874,721
期末純資産	1,342,647,824
	<hr/> <hr/>

FRANKLIN TEMPLETON®

組入資産の明細

2020年6月30日現在

数量／額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
その他規制市場で取引される譲渡可能有価証券					
公社債					
アセットバック証券					
272,028,128	GNMA II, SF, 3.00%, 10/20/44 - 05/20/50	USA	USD	289,653,729	21.57
235,118,099	GNMA II, SF, 3.50%, 07/20/42 - 02/20/50	USA	USD	251,385,677	18.72
126,112,653	GNMA II, SF, 3.00%, 06/20/50	USA	USD	134,005,670	9.98
119,669,255	GNMA II, 3.50%, 05/20/50	USA	USD	126,832,447	9.45
79,653,597	GNMA II, SF, 4.00%, 05/20/40 - 12/20/49	USA	USD	85,968,548	6.40
75,162,805	GNMA II, SF, 2.50%, 05/20/50 - 06/02/50	USA	USD	79,213,628	5.90
41,737,899	GNMA, SF, 5.00%, 07/15/33 - 08/15/40	USA	USD	47,568,841	3.54
38,520,533	GNMA, SF, 4.00%, 10/15/40 - 08/15/46	USA	USD	42,210,383	3.14
37,129,112	GNMA II, SF, 4.50%, 05/20/33 - 12/20/48	USA	USD	40,722,817	3.03
24,357,303	GNMA, SF, 3.00%, 07/20/45	USA	USD	26,019,167	1.94
22,749,996	GNMA, SF, 4.50%, 03/15/39 - 04/15/41	USA	USD	25,511,956	1.90
16,608,043	GNMA, SF, 6.00%, 10/15/23 - 01/15/38	USA	USD	19,349,120	1.44
17,545,632	GNMA, 4.00%, 11/20/49 - 12/20/49	USA	USD	18,858,455	1.41
15,439,240	GNMA, SF, 5.50%, 12/15/28 - 11/15/39	USA	USD	17,694,748	1.32
9,719,967	GNMA II, SF, 5.00%, 10/20/32 - 02/20/41	USA	USD	11,000,488	0.82
9,006,751	GNMA II, SF, 5.50%, 05/20/34 - 01/20/36	USA	USD	10,385,576	0.77
7,642,849	GNMA II, SF, 6.00%, 06/20/34 - 07/20/39	USA	USD	8,806,304	0.66
7,115,885	GNMA, SF, 6.50%, 11/15/23 - 07/15/38	USA	USD	8,224,156	0.61
3,826,038	GNMA, 3.00%, 05/20/50	USA	USD	4,097,637	0.31
2,987,129	GNMA II, SF, 6.50%, 03/20/27 - 10/20/38	USA	USD	3,515,966	0.26
2,620,658	GNMA, SF, 7.00%, 03/15/22 - 09/15/32	USA	USD	2,892,517	0.22
2,367,075	GNMA, SF, 3.50%, 04/15/43 - 05/15/43	USA	USD	2,552,945	0.19
1,623,070	GNMA II, SF, 7.00%, 05/20/26 - 03/20/33	USA	USD	1,940,976	0.14
999,245	GNMA, SF, 7.50%, 03/15/22 - 08/15/33	USA	USD	1,140,496	0.08
782,280	GNMA II, SF, 7.50%, 08/20/22 - 09/20/32	USA	USD	935,355	0.07
656,381	GNMA II, 6.00%, 03/20/34	USA	USD	741,204	0.06
600,150	GNMA, SF, 8.00%, 01/15/22 - 12/15/30	USA	USD	641,937	0.05
327,506	GNMA II, 6.50%, 04/20/34	USA	USD	369,383	0.03
310,544	GNMA II, SF, 8.00%, 06/20/22 - 07/20/31	USA	USD	355,935	0.03
137,465	GNMA, SF, 9.00%, 01/15/25 - 03/15/25	USA	USD	151,071	0.01
75,907	GNMA II, SF, 8.50%, 12/20/21 - 05/20/29	USA	USD	88,048	0.01
65,106	GNMA, SF, 8.50%, 08/15/21 - 06/15/28	USA	USD	70,905	0.01
41,575	GNMA, 7.50%, 04/15/31	USA	USD	42,317	0.00

フランクリン・テンブルトン・インベストメント・ファンズ—フランクリン U. S. ガバメント・ファンド

数量/額面	銘柄	国コード	取引通貨	評価額 (米ドル)	対純資産 比率 (%)
32,932	GNMA, 8.00%, 01/15/31	USA	USD	33,351	0.00
10,207	GNMA II, 8.00%, 03/20/27	USA	USD	11,474	0.00
8,640	GNMA, SF, 9.50%, 10/15/21 - 08/15/22	USA	USD	8,660	0.00
4,654	GNMA, 6.00%, 11/15/28	USA	USD	5,178	0.00
3,801	GNMA II, SF, 9.50%, 07/20/21 - 07/20/25	USA	USD	3,811	0.00
523	GNMA, SF, 10.00%, 08/15/21 - 03/15/25	USA	USD	524	0.00
130	GNMA I, 9.50%, 08/15/21 - 11/15/21	USA	USD	131	0.00
				<u>1,263,011,531</u>	<u>94.07</u>
				1,263,011,531	94.07
	1年以内に償還する証券				
739	GNMA, SF, 8.50%, 05/15/21 - 06/15/21	USA	USD	743	0.00
127	GNMA II, SF, 9.50%, 11/20/20 - 02/20/21	USA	USD	128	0.00
16	GNMA, SF, 9.50%, 11/15/20	USA	USD	16	0.00
				<u>887</u>	<u>0.00</u>
	公社債計			1,263,012,418	94.07
	小計			<u>1,263,012,418</u>	<u>94.07</u>
	合計			<u>1,263,012,418</u>	<u>94.07</u>

フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・ セキュリティーズⅡ・ファンドの運用状況について

2020年9月30日決算

(計算期間：2019年10月1日～2020年9月30日)

フランクリン・テンプレトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンドはフランクリン・テンプレトン 米国政府証券マザーファンド（ファンド・オブ・ファンズ形式）が投資対象とする外国投資法人です。

当ファンドの決算は、年1回（毎年9月末）です。したがって、直前の計算期末である2020年9月30日時点までの運用状況をお知らせします。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

設定形態	バミューダ籍投資法人／オープンエンド型／米ドル建て
投資目的	金利収入の確保を投資目的とします。
主な投資戦略	純資産総額の少なくとも80%を米国政府証券に投資を行います。現在、実質的にその資産のすべてを米国ジニーメイ・パス・スルー証券に投資しています。 また、米国政府の十分な信頼性と信用に裏付けられたその他の米国政府の証券（例えば、ストリップス債 (treasury strips)、長期国債 (treasury bonds)、中期国債 (treasury notes) など) にも投資することがあります。短期の運用対象には、短期の政府証券や現金が含まれません。また、米国政府発行の証券を担保として利用するレポ取引 (repurchase agreements) を行うことがあります。 *資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合があります。
関係法人	運用会社：フランクリン・アドバイザーズ・インク 管理事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・サービシーズ・エルエルシー (業務委託先：JPモルガン・チェース・バンク・エヌ・エー) 名義書換事務代行会社：フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ (アジア) リミテッド 保管銀行：ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・メロン
費用 ^注	申込手数料：かかりません 運用報酬：年0.40%以内 管理事務代行報酬：年0.10%以内 名義書換事務代行報酬：年0.05%以内

(注) この他に保管銀行報酬、監査費用、組入れ有価証券の売買委託手数料等取引に要する費用等がかかります。

フランクリン・テンブルトン U. S. ガバメント・セキュリティーズⅡ・ファンド
損益計算書

2020年9月30日に終了した計算期間

(米ドル)

投資収益	
債券利息	4,796,848
一部償還による損失	(909,164)
投資収益合計	3,887,684
費用	
運用報酬	505,402
管理事務代行報酬	126,351
名義書換事務代行報酬	63,175
保管銀行報酬	943
その他費用	137,413
費用合計	833,284
費用相殺	(985)
純費用合計	832,299
投資純収益	3,055,385
投資有価証券に係る実現純利益	400,221
投資有価証券に係る未実現評価益	1,004,660
当期実現及び未実現純利益	1,404,881
運用の結果による純資産の純増加額	4,460,266

FRANKLIN TEMPLETON®

組入資産の明細

2020年9月30日現在

銘柄	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
米国国債および米国機関債 2.0%		
U. S. Treasury Bond, 4.75%, 2/15/37	430,000	677,670
U. S. Treasury Note, 2.375%, 5/15/27	1,520,000	1,713,562
米国国債および米国機関債計 (Cost \$2,092,339)		2,391,232
モーゲージ担保証券 96.3%		
ジニーメイ (米国政府抵当金庫) 固定金利証券 96.3%		
GNMA I, 30 Year, 5%, 5/15/33	699,447	800,960
GNMA I, 30 Year, 5.5%, 3/15/32	23,885	27,304
GNMA I, 30 Year, 6%, 6/15/29 - 10/15/33	181,247	213,979
GNMA I, 30 Year, 6.5%, 3/15/28 - 5/15/31	402,175	466,932
GNMA I, 30 Year, 7%, 9/15/31	414,344	500,836
GNMA I, 30 Year, 7%, 4/15/32	1,195,637	1,457,236
GNMA I, 30 Year, 7%, 12/15/23 - 5/15/32	894,093	1,049,217
GNMA I, 30 Year, 7.5%, 2/15/32	867,355	1,057,650
GNMA I, 30 Year, 7.5%, 12/15/23 - 3/15/32	97,957	116,886
GNMA I, 30 Year, 8%, 12/15/23 - 3/15/32	70,342	82,092
GNMA I, 30 Year, 8.5%, 2/15/30 - 2/15/32	105,344	121,547
GNMA I, 30 Year, 9%, 2/15/26 - 10/15/29	40,657	45,732
GNMA I, 30 Year, 9.5%, 12/15/21	35	35
GNMA I, 30 Year, 10%, 10/15/21	3	4
GNMA I, Single-family, 30 Year, 4%, 10/15/40 - 8/15/46	701,323	759,759
GNMA I, Single-family, 30 Year, 4.5%, 2/15/41	1,026,573	1,140,248
GNMA I, Single-family, 30 Year, 4.5%, 7/15/39 - 6/15/41	1,704,784	1,899,547
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5%, 8/15/33	741,885	850,194
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5%, 8/15/33	442,261	501,344
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5%, 9/15/33	607,758	697,173
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5%, 4/15/33 - 5/15/34	3,206,319	3,635,184
GNMA I, Single-family, 30 Year, 5.5%, 1/15/32 - 6/15/34	3,945,063	4,473,039
GNMA I, Single-family, 30 Year, 6%, 12/15/33	474,969	545,951
GNMA I, Single-family, 30 Year, 6%, 4/15/34	1,307,884	1,559,943
GNMA I, Single-family, 30 Year, 6%, 11/15/34	468,360	540,511
GNMA I, Single-family, 30 Year, 6%, 2/15/24 - 10/15/34	1,822,337	2,103,673
GNMA I, Single-family, 30 Year, 6.5%, 12/15/23 - 11/15/34	351,409	404,771
GNMA I, Single-family, 30 Year, 7%, 5/15/22 - 2/15/31	356,029	382,623
GNMA I, Single-family, 30 Year, 7.5%, 2/15/23 - 3/15/32	186,546	195,456
GNMA I, Single-family, 30 Year, 8%, 1/15/22 - 2/15/32	189,848	197,600

銘柄	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA I, Single-family, 30 Year, 8.5%, 1/15/22 - 2/15/31	125,651	131,570
GNMA I, Single-family, 30 Year, 9%, 1/15/25 - 9/15/30	72,459	75,324
GNMA II, 30 Year, 4.5%, 5/20/34	208,407	230,771
GNMA II, 30 Year, 6%, 4/20/34 - 6/20/34	518,878	572,351
GNMA II, 30 Year, 6.5%, 9/20/31	352,686	422,235
GNMA II, 30 Year, 6.5%, 8/20/32	163,328	196,873
GNMA II, 30 Year, 7%, 1/20/34	217,280	238,902
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 7/20/50	3,114,875	3,274,636
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 8/20/50	2,503,780	2,632,199
GNMA II, Single-family, 30 Year, 2.5%, 9/20/50	2,160,000	2,270,788
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 5/20/45	1,098,475	1,166,495
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 6/20/45	437,519	464,048
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 4/20/46	1,550,577	1,641,935
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 5/20/50	2,953,876	3,105,290
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 6/20/50	1,981,484	2,087,328
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 7/20/50	7,714,045	8,139,992
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3%, 12/20/42 - 9/20/50	2,890,427	3,046,822
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 5/20/43	673,648	730,426
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 6/20/43	1,046,067	1,134,471
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 9/20/43	1,516,154	1,647,945
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 2/20/44	1,253,396	1,360,992
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 9/20/47	4,306,781	4,599,189
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 10/20/47	3,141,969	3,354,440
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 11/20/47	9,022,518	9,631,741
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 1/20/48	2,416,794	2,571,781
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 2/20/50	7,534,358	7,928,707
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 5/20/50	973,241	1,029,204
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 6/20/50	3,962,207	4,217,180
GNMA II, Single-family, 30 Year, 3.5%, 7/20/42 - 4/20/43	551,010	598,230
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 1/20/41	457,869	503,706
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 7/20/41	467,655	512,390
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 11/20/41	602,534	665,470
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 2/20/44	412,956	462,708
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 11/20/49	1,402,396	1,493,881
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 12/20/49	548,425	593,663
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 12/20/49	523,235	566,325
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4%, 2/20/41 - 2/20/44	1,314,903	1,450,351
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4.5%, 6/20/41	1,104,843	1,226,832
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4.5%, 9/20/41	814,495	904,676

FRANKLIN TEMPLETON®

銘柄	元本額 (米ドル)	評価額 (米ドル)
GNMA II, Single-family, 30 Year, 4.5%, 5/20/33 - 12/20/48	1,894,594	2,092,331
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5%, 9/20/33	3,043,804	3,476,627
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5%, 11/20/33	1,009,698	1,153,278
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5%, 12/20/33	416,245	474,860
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5%, 3/20/34	78,390	89,565
GNMA II, Single-family, 30 Year, 5.5%, 6/20/34	2,579,007	3,060,029
GNMA II, Single-family, 30 Year, 6%, 12/20/33	496,254	574,104
GNMA II, Single-family, 30 Year, 6%, 3/20/31 - 7/20/39	425,223	489,401
GNMA II, Single-family, 30 Year, 6.5%, 10/20/31	412,965	490,747
GNMA II, Single-family, 30 Year, 6.5%, 11/20/32	405,586	475,939
GNMA II, Single-family, 30 Year, 6.5%, 11/20/33	408,708	485,210
GNMA II, Single-family, 30 Year, 6.5%, 10/20/25 - 2/20/33	399,773	474,962
GNMA II, Single-family, 30 Year, 7.5%, 10/20/23 - 12/20/32	1,141,322	1,368,860
GNMA II, Single-family, 30 Year, 8%, 9/20/26 - 7/20/31	180,690	206,235
GNMA II, Single-family, 30 Year, 8.5%, 12/20/22 - 11/20/31	155,815	181,694
GNMA II, Single-family, 30 Year, 9%, 11/20/24 - 1/20/27	92,953	99,549
GNMA II, Single-family, 30 Year, 9.5%, 9/20/21 - 12/20/21	345	347
モーゲージ担保証券計 (Cost \$112,113,957)		<u>117,903,031</u>
合計 (Cost \$114,206,296) 98.3%		<u>120,294,263</u>



FRANKLIN TEMPLETON

フランクリン・テンプレトンは、創業以来
ベンジャミン・フランクリンの肖像画をロゴマークとしております。
創業者ルーパート・H・ジョンソン Sr.は、
“With money and financial planning, prudence comes first.”
(お金を増やそうとするときに一番大切なのは、用心深さである。)
というベンジャミン・フランクリンのビジネス哲学に深く感銘し、
アメリカ建国の父でもあり、偉大な科学者、
そして優れた投資家でもあった彼の名を社名に冠しました。
ベンジャミン・フランクリンの肖像画を用いたロゴマークは、
ご投資家の皆様にとって、
フランクリン・テンプレトンの資産運用サービスに対する
信頼と安心の象徴となっております。